

この道は
誰の道?

第38回企画展

絵図から読み解く江戸の福岡

杉野家文書

令和8年10月3日(土)～11月29日(日)

開館時間

午前9時～午後4時半
[入館は午後4時まで]

休館日

月曜日[祝日を除く]、
祝日の翌平日

入館料

一般・大学生 150円
中学生以下 70円
20名以上団体割引

※土日・祝日は中学生以下無料

主催：高岡市・高岡市教育委員会
高岡市福岡歴史民俗資料館
協力：石川県立歴史博物館

高岡市福岡歴史民俗資料館

〒939-0143 高岡市福岡町下向田15

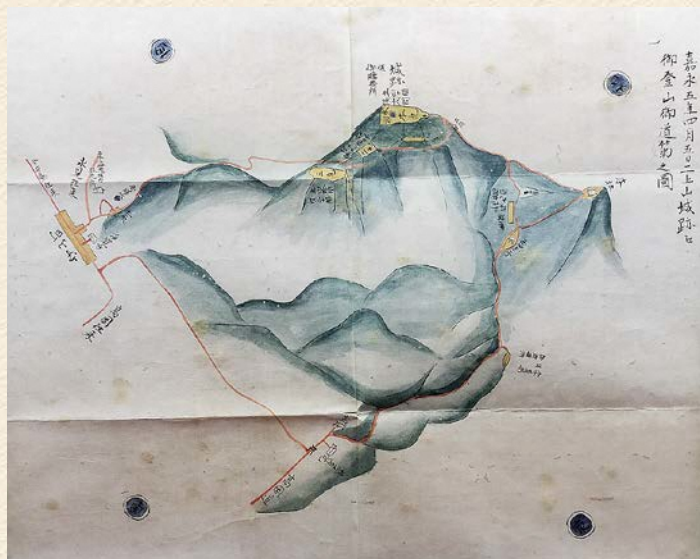
TEL・FAX 0766-64-5602

殿様通りの街道絵図
(福岡歴史民俗資料館蔵)

高岡往還道図

(福岡歴史民俗資料館蔵)

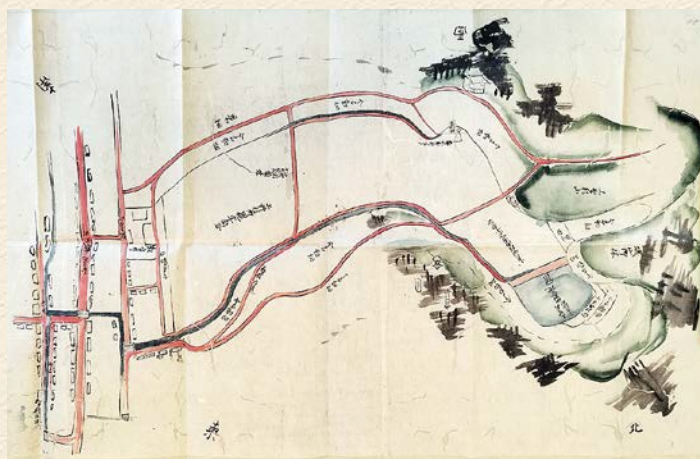




二上山城跡へ御登山道筋の図
(福岡歴史民俗資料館蔵)



木舟古城図 (福岡歴史民俗資料館蔵)



今石動街道図 (福岡歴史民俗資料館蔵)

高岡市福岡歴史民俗資料館

〒939-0143 高岡市福岡町下向田15
TEL・FAX 0766-64-5602

当館の情報



江戸時代、加賀藩独自の農村支配制度として十村役^{とむらやく}が置かれていた。

ここ福岡町にも大滝で代々十村役^{とむらやく}を務めた杉野家があり、その杉野家に伝わる古文書史料群は市の指定文化財に指定されている。

その中には、県指定史跡「木舟城跡」の城の構造を知る上で貴重な史料となった「木舟古城図」など、興味深い絵図史料が多数ある。

今回は、当館が所蔵する膨大な古文書史料のうち、絵図に着目し、さらに“道”をテーマに3部構成にわたり展開する。

参勤交代時、殿様の小休所^あに充てられていた福岡町にある長安寺での勘定記録や殿様が通った街道絵図から、加賀藩支配下での江戸の福岡の実像に迫りたい。

展示構成

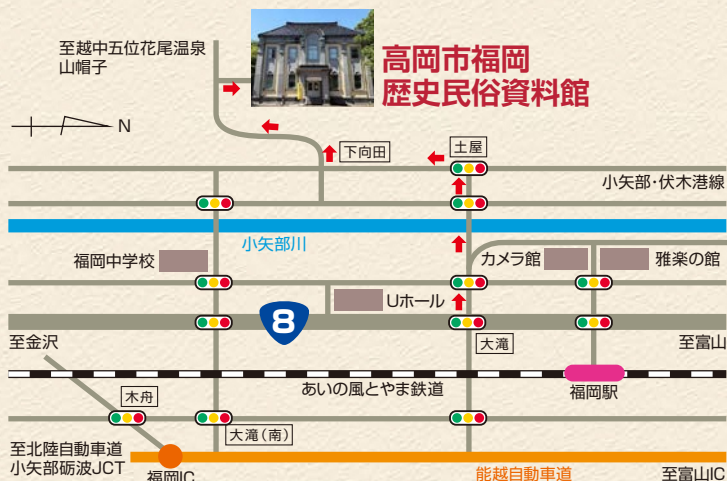
第1章 【支配者の道】
藩が作った大動脈と「統制」^{はん つく だいどうみやく とうせい}

第2章 【生活者の道】
暮らしを支えた流通と「市場」^{く ざさ りゆうつう しじょう}

第3章 【未来への道】
現在の我々へのメッセージ^{げんざい われわれ}



古文書とは昔の人が書いた
手紙やお知らせ、記録のことだよ



【交通のご案内】 あいの風とやま鉄道 福岡駅からタクシー 約10分
能越自動車道 福岡ICから自動車 約10分